

◎埋蔵文化財包蔵地・唐人駄場遺跡の試掘調査を実施！

…8月31日～9月1日(2日間)

現在、三崎地区に所在している「NPO 法人ダディー牧場」の唐人駄場移設に関わり、唐人駄場遺跡内の試掘確認調査を8月31日・9月1日の2日間で行うことになりました。

当該開発地は周知の埋蔵文化財包蔵地内に位置しており、開発に対しては文化財保護法第93条による届出が必要となります。

唐人駄場遺跡の埋蔵文化財調査はこれまで未実施です。過去に大分県姫島産黒曜石製の石鏃が大量に表採された事実のみで、遺跡内容や分布状況など詳細な調査は皆無です。今回は、開発に伴う調査ですが、元高知県立埋蔵文化財センター調査班長で、現土佐清水市史編集委員会・出原恵三委員に調査を指揮していただくことになりました。この調査結果を、『新市史』にも有効に活用していきたいと考えております。



「唐人駄場遺跡内の開発地」Google航空写真映像を引用

今後の開発の流れは、この試掘確認調査を分析し、その結果を添えて、文化財保護法第93条の届出を高知県教育長宛に進達したいと考えております（高知県教育委員会文化財課埋蔵文化財担当チーフと既に調整済み）。後日、高知県教育長の通知が当教育委員会に送付され、これを開発者である「NPO 法人ダディー牧場」に発送する予定です。

また、今回の試掘確認調査の場所は、足摺宇和海国立公園第2種特別地域内に位置していますので、当教育長名で「土地の形状変更許可申請書」を環境省に提出し、令和2年8月3日付け環国地許第2008035号にて中国四国地方環境事務所長より許可を得ております。

【調査団】◎出原恵三（市史編集委員） ○田村公利（市史編さん室） 由岐直久（市史編さん室）
丹生石大介（観光商工課） その他、土佐清水市郷土史同好会ボランティア

◎調査責任者 ○調査副責任者

◎土佐清水市立市民図書館企画展示【9月13日まで】

三好寅雄切手・景書コレクション

(1) はじめに

土佐清水市大谷の故・三好寅雄さんは、「足摺国際ホテル」や「サニーサイドホテル」などの市内所在のホテルで営業フロント部長として長年勤務してこられました。

平成30年末、体調を崩し、診断の結果、胃ガンであることが判明。闘病で入退院を繰り返していましたが、本年4月11日に永眠されました。享年70歳でした。

(2) 少年時代より「切手や使用済み葉書・封筒」の収集

寅雄さんは、少年時代、「切手」収集を趣味としていました。高校生のときは、切手の購入資金を稼ぐために、せっせっとアルバイトをしたそうです。以来60年余り。趣味は切手以外に「使用済み葉書や封書」にまで広がります。明治末から昭和の中頃までの貴重な収集コレクションはそのまま遺品として残りました。これらのコレクションを見るとその時代時々の様相が色濃く繁栄されています。今回、ご家族が土佐清水市教育委員会にこれらの貴重なコレクションをすべて寄贈していただきましたので、その一部を展示しています。

(3) 展示している代表的な切手や葉書の説明

①大正3年「徴兵保険株式会社の徴兵保険契約規程通知の葉書」

徴兵保険とは、学資保険に類似しており、子どものときに加入し、徴兵の時に保険金が支払われる保険である。

②昭和天皇の立太子礼のときの記念葉書

昭和天皇が、当時皇太子になったことを記念して発行された絵葉書。

③太平洋戦争中の憲兵隊検閲済みの封筒

戦地にいる兵士は、郵便に所在地や詳しい戦況を書かないことが義務づけられていた。思想が統制され、反戦や死を恐れる気持ちを文面に表すことが許されなかった。そのため兵士が投函・受取する手紙は憲兵などにより検閲され、不適切な表現と判断された場合には、その部分が黒塗りされた。

④葉書に貼り付けられた兵士の切手

兵士が敬礼している図柄の「十五銭切手」が葉書に貼付されている葉書。

⑤日満連絡船「熱河丸」(大坂商船, 6784 トン, 1935 年建造)の絵葉書

満州の玄関「大連」と「日本」を結ぶ航路は「日満連絡船」と呼ばれた。日露戦争以降、大坂商船が主体となって運航していた。

土佐清水市立市民図書館入口付近のフロアーに展示しています。お立ち寄りの際には是非貴重な切手や葉書をご覧ください。



図書館入口に設置された企画展示



故・三好寅雄氏※掲載はご家族に承諾済み

※9月14日以降は、平成17～21年度(2005～2009)に高知大学教育学部市村研究室や土佐清水市教育委員会生涯学習課で試掘確認調査した加久見氏居館跡で出土した埋蔵文化財(土器片)の企画展示を行う予定です。こちらもよろしくお願ひします。